

情報社会における情報システム

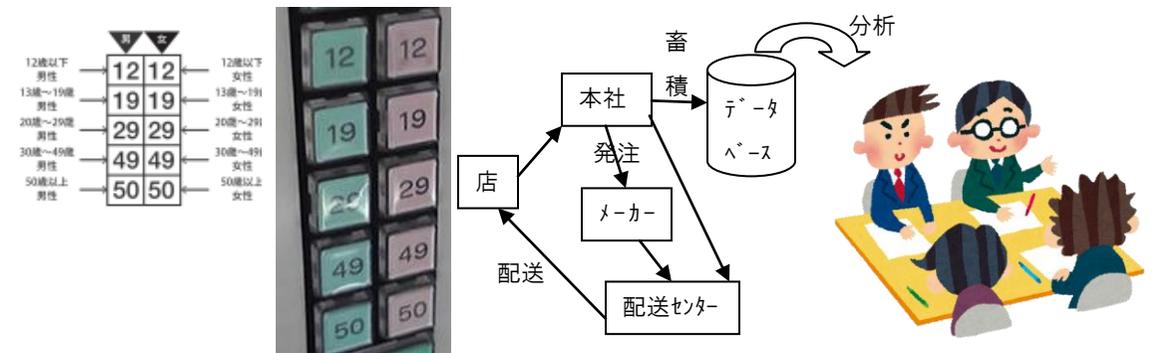
<ねらい>

情報社会を支える情報システムについて理解しよう

1. 身近にある情報システム

() = 情報の収集・保管・伝達などの情報活用を可能にするしくみ
 (例) SNS、オンラインショップ、電子マネー、ICカード乗車券

(1) POSシステム (販売時点情報管理システム)



販売した時点で、誰が(何歳くらいの人が) データを本社のコンピュータに送 蓄積したデータから売れ行きを分析
 何をいつどの店で購入したかを記録 り、即時に発注・配送手配を行う し販売に活かす

◇実習：ポイントカードを作成するとき、どんな記入項目があるだろうか？

◇実習：お店はポイントカードから得られた情報をどのように使うか、話しあってみよう

(2) 電子商取引 = ネットワークを利用した消費者と企業、企業同士・個人同士の取引 BtoC BtoB CtoC

◇実習：自分が利用する電子商取引サービスを記入しよう

2. サイバー犯罪とセキュリティ対策

() = コンピュータやインターネットを利用した犯罪

◇実習：サイバー犯罪にはどのようなものがあるか？インターネットで調べてみよう。

(1) 悪意あるソフトウェア

() = コンピュータウイルス、ワーム、トロイの木馬

◇実習：これらマルウェアに感染した時の対応を調べてみよう。

(2) インターネットでの悪質商法

- ・架空請求 = 身に覚えのない請求を受けること
- ・ワンクリック詐欺 = Web の閲覧を勧めていくうちに請求画面が現れる。
- ・フィッシング = 金融機関や公的機関を装い、ID や暗証番号・カードの情報を盗み出す

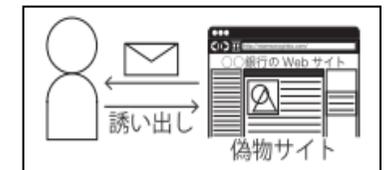


図 フィッシング

◇実習：架空請求・ワンクリック詐欺への対応方法を調べよう

(3) インターネットの匿名性と犯罪

() = インターネット上では本名や顔を明かすことなく発言できる
 →実際には IP アドレスから特定可能しやすい・・・

<サイバー犯罪への対策>

- ① インターネット上のコミュニケーションの特性を知る・・・実は匿名ではない
- ② ネットワークの技術やそれらを利用した事件を知る・・・サイバー犯罪の手口を知る
- ③ 予防方法や回避する方法を知る・・・ウイルス対策ソフト・フィルタリング・相談窓口
- ④ 法律について知る・・・電子消費者契約法 (操作ミスによる申し込みは無効など)
- ⑤ 個人情報適切に管理する・・・ID・パスワードの管理、入力に注意